

令和5年度
事業報告書

社会福祉法人スキーム福祉の会

令和5年度事業報告書

I. 総括

令和5年度は、新型コロナウイルスのクラスターを発生させることもなく、ご利用者には安心してご利用して頂くことが出来ました。その甲斐もあり、稼働率につきましても、入所・通所部門ともに大きく目標値を下回ることなく年間目標値に近い数値で稼働することが出来ました。また、エネルギーや原材料等の物価高騰につきましても、昨年に引き続き物価高騰対策支援補助金がありましたことから、大きく業績悪化となることはありませんでした。

今年度は介護現場においてICT（情報通信技術）への取り組みを積極的に行い、介護記録システムの充実化を図りました。まだ導入して間もなく大幅な業務改善には至っていませんが、今後も引き続き継続して改善を図り、介護記録システムが有効に活用できるよう協議・検討して参りたいと思います。

最後に、災害及び感染症に対する事業継続計画（BCP）は年度内に完成することができ、今後、懸念される地震、水害等の災害や感染症の集団発生に備えることができました。

令和5年度の重点取組5項目について以下報告します。

1. サービスの質の向上

入所部門では介護記録システムの導入を行い、今まで記録に要していた時間の短縮を図るべく業務改善に取り組みました。まだ導入して間もなく職員も不慣れな部分があるため、大幅な業務改善には至りませんでした。今後引き続き介護記録システムが有効に活用できるよう協議・検討を重ねて参ります。また、在宅部門では「し過ぎない介護」を心掛け、ご利用者の自立を妨げることのないよう、日々のミーティングを活用しながらご利用者の状態に合わせた根拠のある介護を実践しました。

2. 感染症対策の徹底

新型コロナウイルスも5類へ移行されたことから職員及びご利用者に対する制限も緩和しました。しかし、近隣でもクラスターが発生している状況等もあることから、当施設としては今後もマスクの着用及び面会制限等、周りの状況や近隣施設の対応等を確認しながら随時、対策を協議・検討して参りたいと思います。インフルエンザやノロウイルス等、他の感染症の発生はありませんでした。

3. リスクマネジメント

年間を通して重大な介護事故、交通事項等の発生はありませんでしたが、介護現場での服薬ミスが昨年と比べて多く発生しました。その為、ユニット会議及び事故防止委員会等で報告書の内容を関係者等で検討し、同じ内容でのミスが発生しないように努めました。

4. 防災対策

災害に対する事業継続計画も完成し、事業所ごとに災害に対する対策を講じることができました。

今後は更に内容を精査し、実際の有事の際に活用できるようにして参ります。また、研修及び実地訓練等を通じて全職員に周知徹底を図り、意識改革を行って参ります。

5. 地域貢献（地域交流・貢献委員会）

総社市社会福祉法人貢献活動推進協議会（ふくしネットそうじゃ）の会員事業所として、以下の活動に参加いたしました。

- ・ふくしネットそうじゃ総会（6/29）
 - 令和4年度事業報告・決算報告
 - 令和5年度事業計画及び予算について
- ・ふくしネットそうじゃ 第1回事業部会 出席（8/8）
 - ① 暮らし応援事業 フードドライブについて
 - ② 安心すまい応援事業について
 - ③ しごと応援事業について
- ・令和5年度第1回フードドライブ 参加（清音福祉センター）（9/30）
- ・令和5年度 地域交流事業 清音いきいき健康福祉祭参加（10/14）
 - 焼きそば 200食・おにぎり 100食販売
- ・令和5年度ふくしネットそうじゃ 第2回事業部会 出席（12/14）
- ・しごと応援事業の一環として、引きこもりの方1名のボランティア受け入れ開始。
現在継続中。（1/9開始で30回予定）
- ・災害ボランティアフェスティバル参加
岡山県立大学で開催。送迎車（キャラバン）と特殊車いす2台を展示。（3/9）

6. 働き方改革の推進

直接介護以外の業務をスリム化し、サービスの質の向上に生かすために介護業務のICT化に取り組みました。担当者を決め、当施設に有効性が高いものは何か、現場の声を聞きながら何度も検討を重ね、勉強会など行い特養にて介護記録ソフト等の導入に至りました。まだ目的の入り口ではありますが、今後利用者と職員にとってより有効なものになっていくよう努力を続けて参ります。

II. 職員構成等

（令和6年3月31日現在）

事業所名	職種	員数
特別養護老人ホーム	施設長	1名（ケアハウス施設長兼務）
	生活相談員	2名（内ショートステイ1名）
	特養部長	1名
	機能訓練指導員	1名
	看護職員	7名（内パート4名）
	介護職員	45名（内パート4名）
	管理栄養士	1名

	介護支援専門員 用務員	1名 1名
デイサービスセンター	在宅部長 在宅課長 管理者 生活相談員 看護職員 機能訓練指導員 介護職員	1名（兼務 生活相談員） 1名（兼務 理事長） 1名（兼務 1名 生活相談員） 2名（兼務 2名 管理者・在宅部長） 2名（兼務 2名 機能訓練指導員）（内パート1名） 2名（兼務 2名 看護職員） 8名（内パート2名）
居宅介護支援事業所	ケアマネジャー	1名（兼務 1名 管理者）
ケアハウス	管理者 生活相談員 介護職員	1名（特養施設長兼務） 1名 2名（内パート1名）
地域包括支援センター	主任介護支援専門員 看護師 社会福祉士 支援計画担当者	1名 1名 1名（兼務 管理者） 3名（内パート1名）
全事業所兼務	事務員	2名（全事業所共通）

在職職員の資格取得状況（取得者数は重複含む）

資格名	取得者数	所属別	
施設長	2名	特養	2
看護師	6名	特養	4
		在宅	2
准看護師	4名	特養	3
		在宅	1
介護福祉士	62名	特養	46
		在宅	16
社会福祉士	9名	特養	2
		在宅	7
作業療法士	1名	特養	1
精神保健福祉士	2名		在宅 2
介護支援専門員	13名	特養	4
		在宅	9
主任介護支援専門員	3名		在宅 3
社会福祉主事	23名	特養	12
		在宅	11
管理栄養士	1名	特養	1

Ⅲ. 社会福祉法人スキーム福祉の会 理事会・評議員会 開催状況

(理事会)

開催日	出席者	主な議決事項
R5.4.20 (書面決議)	理事 6名 監事 2名	渡邊繁雄氏の不法行為等への対応について
R5.6.15	理事 6名 監事 2名	令和4年度事業報告について 令和4年度収入支出決算について 職員給与規程別表の一部変更について 評議員会の日時・場所・議案等について
R5.6.30	理事 6名 監事 2名	理事長互選について
R5.9.14	理事 6名 監事 1名	職員給与規程の一部変更について 役員及び評議員等の報酬等に関する規程の一部変更について 令和5年度第1次収入支出補正予算(案)について 評議員会の日時・場所・議案等について
R5.12.14	理事 6名 監事 2名	令和5年度第2次収入支出補正予算(案)について 評議員会の日時・場所・議案等について
R6.3.21	理事 6名 監事 2名	令和5年度第3次収入支出補正予算(案)について 特別養護老人ホームグリーンアンドリバーホーム(従来型)運営規程の一部変更について 特別養護老人ホームグリーンアンドリバーホーム(ユニット型)運営規程の一部変更について 特別養護老人ホームグリーンアンドリバーホーム短期入所生活介護(従来型)運営規程の一部変更について 特別養護老人ホームグリーンアンドリバーホーム短期入所生活介護(ユニット型)運営規程の一部変更について グリーンアンドリバーホームデイサービスセンター運営規程の一部変更について 令和6年度事業計画(案)について 令和6年度収入支出予算(案)について 評議員会の日時・場所・議案等について

(評議員会)

開催日	出席者	主な議決事項
R5.6.30	評議員 7名 監事 2名	令和4年度事業報告について 令和4年度収入支出決算について

		理事の選任について 監事の選任について
R5.9.22	評議員 7名	役員及び評議員等の報酬等に関する規程の一部変更について 令和5年度第1次収入支出補正予算(案)について
R5.12.22	評議員 7名	令和5年度第2次収入支出補正予算(案)について
R6.3.29	評議員 7名	令和5年度第3次収入支出補正予算(案)について 令和6年度事業計画(案)について 令和6年度収入支出予算(案)について

IV. 事業所別報告

1. 管理・運営部門

1. 防災教育及び訓練

実施日	訓練内容
R5.7.21	昼間想定 消火、通報、救助、避難訓練 防災監視盤・火災報知機の実施訓練
R5.10.27	夜間想定 消火、通報、救助、避難訓練 防災監視盤・火災報知機の実施訓練

2. 職員研修

①施設内研修

研修月	研修名	出席者	講師等
4月	サービス規則の説明 ハラスメント防止に資する研修	87名 (100%)	資料配布
5月	感染症予防研修① (食中毒)	87名 (100%)	資料配布
6月	プライバシー保護の取り組みに関する研修	88名 (100%)	資料配布
7月	事故防止研修① 医療・緊急時の対応に関する研修 疾患への理解(包括) 適切なケアマネジメント手法について (居宅)	88名 (100%)	資料配布
8月	防災研修	87名 (100%)	資料配布
9月	虐待防止研修①	86名	資料配布

	身体拘束廃止研修①	(100%)	
10月	看取り研修(特養) 介護予防及び要介護度進行予防に関する研修(デイ) 適切なケアマネジメントについて(包括) 適切なケアマネジメント手法について(居宅)	86名 (100%)	資料配布
11月	感染症予防研修②(ウイルス感染症)	86名 (100%)	資料配布
12月	褥瘡予防研修 虐待防止研修② 身体拘束廃止研修②	86名 (100%)	資料配布
1月	事故防止研修② 倫理及び法令遵守に関する研修	85名 (100%)	資料配布
2月	認知症研修	85名 (100名)	資料配布
3月	交通安全に資する研修 精神的ケアに関する研修(特養)	85名 (100%)	資料配布

※施設内職員研修の平均出席率 100%

②施設外研修

全国・岡山県老人福祉施設協議会・岡山県社会福祉協議会や各種団体が開催する各種研修会へ年間35回、延べ参加人数70名が参加致しました。

1. 特別養護老人ホーム(従来型)

今年度は前半期で入院者数が増大したことに加え、年間を通じて退所者が増加したことが要因で年間稼働目標97.5%に対し、最終的には稼働率97.2%で1年を終えました。また、ショートステイについては稼働率85.0%に対し84.6%の稼働率でした。来年度は出来る限り入退所に係る期間の短縮等に努め、稼働率向上に向けて尽力して参ります。

新型コロナウイルスの第5類への移行に伴い、看取り期の方の「家に帰りたい。」というご要望やご入居者の外出等の支援も少しずつ計画・実行することができ、喜んでいただくことができました。今後、1日でも早く以前の生活に戻れ、より充実した生活を送ることが出来るよう、感染症マニュアルに沿った適切な対応を行い、ご入居者に満足していただけるサービス提供に努めてまいります。

人材育成については、オンライン研修だけでなく、対面での外部研修にも参加を促しました。研修後は、その研修内容を各ユニット会議で報告し、職員同士で詳細な情報共有を図ったこと

で、資質の向上に繋げることが出来ました。

サービス提供に関しては、ご入居者に寄り添う介護を念頭に業務の改善を進めました。まず、ユニ・チャーム（株）様にご提案いただきながら、おむつ交換の回数や交換時間・パットの種類の見直しを行いました。また、介護記録システムの活用により記録業務の効率化を図り、ご入居者への支援の充実を図りました。今後は活用の幅を広げ迅速な情報共有と統一したケアの提供を目指して参ります。

1. サービスの質の向上

〈ケアマネ・相談員〉

- ・新型コロナウイルス感染症 5 類移行に伴い、令和 5 年 5 月より 1 日 4 組の面会が実施できるように制限を緩和したことにより、面会を希望されるご家族も増加しました。ご入居者のご様子を確認できることで安心し、精神的な充足を得られたと思います。また、面会の際にご家族の思いやご要望を伺うことができ、支援に反映させることもできました。
- ・これまでに経験したことがない程のご入居者の死去や長期入院による退所が続出しました。相次ぐ入所者選定により、結果的に入所申込者のほとんどに現況確認をしたところ、待機者が激減。市内の病院や老人保健施設等の担当者へ密に連携を図り、新規入所申込者を数多く紹介して頂くことができたことで、辛うじて長期の空床が生じることを防ぐことができました。また、申込みの際に申込者の話を傾聴して関係を深めることに努めたところ、空床期間がより短くなりスムーズな新規入所につなげることができました。
- ・ご入居者、ご利用者お一人おひとりの生活歴や嗜好、ご意向や現在の状況を関係職種から情報収集するとともに、ご本人やご家族からも聞き取りを行い、個々に合わせたケアマネジメントを行うことでニーズに沿ったサービス提供を実施することができました。
- ・ケアプランに沿った細やかなケアを実践するために、関係職種と情報共有を行うとともに、介護主任と協働して、業務改善や人材育成に取り組みました。介護記録システムの選定と導入・運用に着手し、記録業務時間の削減を目指しました。使用方法に不慣れで情報共有の行き違いが見られたため、今後は使用する職員と協議しながらカスタマイズして活用できるようにして参ります。

〈看護〉

- ・新型コロナウイルス感染症再発防止に向けての定期的評価については、5 類移行となった為、マニュアルを一部修正し協力医療機関との連携を図りながら予防に努めました。
- ・多職種との連携を密にし、ご入居者お一人おひとりの状態の変化を見逃すことなく体調管理を行うことができました。口腔ケア・認知症ケアについての勉強会も計画通り実践することができました。
- ・薬の事故・ヒヤリハット報告書については、事故防止委員会を中心とし、改善策や見直しを行いました。その過程の中で看護師間でしっかり検討することができましたが、事故・ヒヤリハットの減少には至っていない状況です。今後も継続して事故・ヒヤリハットの減少に努めてまいります。

〈介護〉

- ・ニーズに沿った個別ケアを実践するために各リーダーにユニット内で何が足りないのかを問題提起し、それを元目標設定・実行・振り返り・再目標設定と随時、軌道修正を行うことで、今まで以上に満足いただけるケアの提供に努めました。また、介護記録システムを活用することで多職種との連携を深め、状態変化時にケアの見直しを図ることができました。多職種との連携は良くなった一方でシステムに不慣れなこともあり、うまく活用ができていない面もありました。来年度は、より良い活用方法を模索し記録業務と情報共有の時間短縮で空いた時間の有効活用に取り組みます。
- ・ユニット毎に、目標と課題を設定して自発的に行動できる人材育成に取り組みました。対象となった職員の特性や個性によって目標を低く設定し直し、達成感を感じて自信に繋げることができるよう努めました。また、エルダー制度を用いて新入職員の育成にあたり、1人での業務を任せることができるようになりました。
- ・事故予防委員会を中心に各部署のユニット内の問題点を多角的にとらえ、チーム内で共通意識を持ち毎月目標を掲げて取り組んだことで骨折等の重大事故を未然に防ぐことができました。

〈栄養（給食）〉

- ・食事摂取基準を基に介護状態及び食事形態を考慮した献立を作成し、多職種連携のもと個別に対応を行うことが出来ました。
- ・コロナ感染状況を見ながら実施の回数・場所の分散など工夫し、感染対策を行いながら、ミニ夏祭りやデザートバイキングを実施することが出来ました。
- ・大量給食調理マニュアルに沿った衛生指導を徹底し、食中毒を防止することが出来ました。新型コロナウイルスを含む感染対策マニュアルは作成中です。

〈機能訓練〉

- ・令和6年1月から介護業務のICT化に伴い機能訓練個別計画書の形式が変更となりました。書類枚数は増えましたが、記載内容は今までと同様であり、3か月毎の計画書更新も継続し、お一人おひとりの身体機能や生活動作能力の変化に合わせた計画書を作成することができました。
- ・インターネットのリハビリ動画視聴や作業療法協会主催の学会抄録などから、新しい情報や知識を学びました。学んだ知識を応用させ現場で活かせる様に働きかけることができました。
- ・食事や移乗など生活動作の介助方法だけでなく車椅子やセンサーなど介護用品使用状況についてもその都度話し合いを行いました。現在の生活に必要な介護用品が提供できているか確認を行い、安全で穏やかに過ごせる生活環境の提供に努める事ができました。

2. 感染症対策の徹底

継続した感染症対策を行い、感染症の予防に努めました。新型コロナウイルス感染症に関しては、ご入居者3名が感染をしてしまいましたが、感染が大きく広がることなく終息する

ことができました。新型コロナウイルスが 5 類へ移行した後の状況やその他の感染症についても引き続き対策の強化に努めて参ります。

3. リスクマネジメント

事故予防委員会を中心に毎月の各ユニット会議にて「ヒヤリハット・事故集計表」を評価・再検討をすることで事故の未然防止に努めました。1年を通して大きな骨折事故が減り、骨折での手術入院も0件にすることができました。

4. 防災対策

施設全体で行われた年2回の防災訓練に参加しました。他部署の避難誘導を手伝うことで新たな気づきや避難経路を確認することができました。

行事

開催月	行事名	実施内容
4月	お花見	各ユニットにおいて食事会などを実施
5月～7月	運動会、おやつ作り、七夕	各ユニットにおいて感染予防を図った上で実施
8月～9月	花火大会 敬老会	東西ユニット合同で実施 従来型とユニット型が別々に実施
10月～11月	ハロウィン	各ユニットにおいて実施
12月	クリスマス会	食事会等を兼ねて実施
1月～3月	豆まき、ひな祭り	各ユニットにおいて実施

※参考資料

(1) 入居利用者の実態

①介護度及び保険者（令和6年3月31日現在）

要介護度		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
総社市	男	0	0	2	6	4	12
	女	0	0	0	14	13	27
	小計	0	0	2	20	17	39
倉敷市	男	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	1	1	2
	小計	0	0	0	1	2	3
高梁市	男	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	2	1	3
	小計	0	0	0	3	1	4
井原市	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	1	0	1
	小計	0	0	0	1	0	1

真庭市	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	1	1
	小計	0	0	0	0	1	1
吉備中央町	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	1	0	1
	小計	0	0	0	1	0	1
米子市	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	1	0	1
	小計	0	0	0	1	0	1
計	男	0	0	2	7	5	14
	女	0	0	0	19	17	36
合計		0	0	2	26	22	50

① 年齢構成（最高年齢：103歳、最少年齢：66歳、平均年齢：88.8歳）

	～64	65～	70～	75～	80～	85～	90～	95～	100～	計
		69	74	79	84	89	94	99	～	
男性	0	0	1	3	2	4	3	0	1	14
女性	0	2	0	0	4	10	15	3	2	36
合計	0	2	1	3	6	14	18	3	3	50

② 年間の入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
退所	0	3	3	2	2	3	0	1	1	1	1	3
入所	0	2	1	5	2	3	0	1	1	1	1	2

③ 退所理由

長期入院	他施設入所	在宅復帰	死去	(死去の内、施設内での看取り) (5名)
3名	1名	0名	16名	

(2) 稼働状況（平均稼働率：97.2%）

従来型

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
延べ利用者数	1438 (1500)	1443 (1524)	1421 (1465)	1512 (1512)	1517 (1550)	1461 (1491)	1547 (1495)	1454 (1440)	1529 (1521)	1530 (1521)	1417 (1388)	1514 (1544)	17783 (17951)
ベッド稼働率	95.9 (100)	93.1 (98.3)	94.7 (97.7)	97.5 (97.5)	97.9 (100)	97.4 (99.4)	99.8 (96.5)	96.9 (96.0)	98.6 (98.1)	98.7 (98.1)	97.7 (99.1)	97.7 (99.6)	97.2 (98.4)

下段は令和4年度

(3) ショートステイ稼働状況 (平均稼働率：84.6%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
延べ利用者数	512 (497)	532 (485)	525 (479)	550 (543)	537 (461)	484 (510)	494 (527)	516 (456)	507 (511)	464 (508)	522 (468)	534 (525)	6177 (5970)
ベッド稼働率	85.3 (82.8)	85.8 (78.2)	87.5 (79.8)	88.7 (87.6)	86.6 (74.4)	80.7 (85.0)	79.7 (85.0)	86.0 (76.0)	81.8 (82.4)	74.8 (81.9)	93.2 (83.6)	86.1 (84.7)	84.6 (81.8)

() 内は令和4年度

(4) 待機者の状況 (※従来型とユニット型両施設希望者も含む。)

保険者	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
総社市	1	2	36	30	24	93
倉敷市	0	0	1	4	1	6
岡山市	0	0	0	0	1	1
吉備中央町	0	0	0	1	0	1
その他	0	0	0	0	0	0
合計	1	2	37	35	26	101

月	行事食	月	行事食
4月	お花見弁当 →実施	10月	大判焼き →夏祭りで実施
5月	ピザ作り →未実施 各ユニットでおやつ作り	11月	秋祭り未実施 各ユニットおやつ作り
6月	デザートバイキング →未実施	12月	クリスマス行事 →お弁当提供
7月	夏祭りイベント →ミニ夏祭り実施 たこ焼き チョコバナナ実施	1月	お正月行事食 →実施
8月	アイスクリーム →実施	2月	巻き寿司 →実施 従来 チョコフォンデュ デザートバイキング実施
9月	敬老会行事食 →実施	3月	ひな祭り行事 →実施

苦情状況

なし

2. 特別養護老人ホーム (ユニット型)

今年度は、稼働率目標 97.0%に対し稼働率 97.2%で1年を終えました。新型コロナウイルスの第5類への移行に伴い、看取り期の方の「家に帰りたい。」というご要望やご入居者の外出等の支援も少しずつですが計画・実行し、喜んでいただくことができました。今後、1日でも早く以前の生活に戻れ、より充実した生活を送ることが出来るよう今後とも感染症マニ

マニュアルに沿った適切な対応を行い、ご入居者に満足して生活していただけるよう努めて参ります。

人材育成に関しては、オンライン研修だけでなく、対面での外部研修にも参加を促しました。研修後は、その研修内容を各ユニット会議で報告し職員同士で共有、また研修報告を行うことにより更なる資質の向上を図ることが出来ました。

サービス提供に関しては、ご入居者に寄り添う介護を念頭に業務の改善を進めました。まず、ユニ・チャーム（株）様にご提案いただきながら、おむつ交換の回数や交換時間・パットの種類の見直しを行いました。また、介護記録システムの活用により記録業務の効率化を図り、ご入居者への支援の充実を図りました。今後は活用の幅を広げ迅速な情報共有とタイムリーなケアの提供を目指して参ります。

1. サービスの質の向上

〈ケアマネ・相談員〉

- ・新型コロナウイルス感染症 5 類移行に伴い、令和 5 年 5 月より 1 日 4 組の面会が実施できるように制限を緩和したことにより、面会を希望されるご家族も増加しました。ご入居者のご様子を確認できることで安心し、精神的な充足を得られたと思います。また、面会の際にご家族の思いやご要望を伺うことができ、支援に反映させることもできました。
- ・これまでに経験したことがない程のご入居者の死去や長期入院による退所が続出しました。相次ぐ入所者選定により、結果的に入所申込者のほとんどに現況確認をしたところ、待機者が激減。市内の病院や老人保健施設等の担当者へ密に連携を図り、新規入所申込者を数多く紹介して頂くことができたことで、辛うじて長期の空床が生じることを防ぐことができました。また、申込みの際に申込者の話を傾聴して関係を深めることに努めたところ、空床期間がより短くなりスムーズな新規入所につなげることができました。
- ・ご入居者、ご利用者お一人おひとりの生活歴や嗜好、ご意向や現在の状況を関係職種から情報収集するとともに、ご本人やご家族からも聞き取りを行い、個々に合わせたケアマネジメントを行うことでニーズに沿ったサービス提供を実施することができました。
- ・ケアプランに沿った細やかなケアを実践するために、関係職種と情報共有を行うとともに、介護副主任と協働して、業務改善や人材育成に取り組みました。介護記録システムの選定と導入・運用に着手し、記録業務時間の削減を目指しました。使用方法に不慣れで情報共有の行き違いが見られたため、今後は使用する職員と協議しながらカスタマイズして活用できるようにして参ります。

〈看護〉

- ・新型コロナウイルス感染症再発防止に向けての定期的評価については、5 類移行となった為、マニュアルを一部修正し協力医療機関との連携を図りながら予防に努めました。
- ・多職種との連携を密にし、ご入居者お一人おひとりの状態の変化を見逃すことなく体調管理を行うことができました。口腔ケア・認知症ケアについての勉強会も計画通り実践することができました。
- ・薬の事故・ヒヤリハット報告書については、事故防止委員会を中心とし、改善策や見直しを行

いました。その過程の中で看護師間でしっかり検討することができましたが、事故・ヒヤリハットの減少には至っていない状況です。今後も継続して事故・ヒヤリハットの減少に努めてまいります。

〈介護〉

- ・「ユニットケアを意識したチーム作り」を重点課題として、各ユニットで目標を設定し、お一人おひとりに合わせたケアを入居者目線で考え、提供できるよう職員の意識づけに取り組みました。各ユニットに足りていないものが何かを明確にし、軌道修正しながら少しずつ補うことができました。
- ・「観察から気づき、考え、発信、行動のプロセスが実践できる人材育成」を目標として昨年度に引き続き個々の資質に合った指導に取り組みました。各ユニットでアプローチの方法や目標設定を随時変更したことで、少しずつ進歩が見られましたが、自らの発信や実行に移すことまでには至りませんでした。来年度は委員会などで役割を持たせ、発信・実行することができるよう、継続した取り組みを行っていきます。
- ・事故予防委員会を中心に改善策の振り返りを行うことで、事故やヒヤリハット案件の再発の防止に努めました。各委員が関与することで、現場に合った目標を立て、実行、振り返り、再目標という PACD サイクルを実践でき、大きな事故を未然に防ぐことができました。

〈栄養（給食）〉

- ・食事摂取基準を基に介護状態及び食事形態を考慮した献立を作成し多職種連携のもと個別に対応を行うことが出来ました。
- ・コロナ感染状況を見ながら実施で回数・場所の分散など、工夫し感染対策を行いながらミニ夏祭りやデザートバイキングを実施することが出来ました。
- ・大量給食調理マニュアルに沿った衛生指導を徹底し、食中毒を防止することが出来ました。新型コロナウイルスを含む感染対策マニュアルは作成途中です。

〈機能訓練〉

- ・令和6年1月から介護業務のICT化に伴い機能訓練個別計画書の形式が変更となりました。書類枚数は増えましたが、記載内容は今までと同様であり、3か月毎の計画書更新も継続し、お一人おひとりの身体機能や生活動作能力の変化に合わせた計画書を作成する事ができました。
- ・インターネットのリハビリ動画視聴や作業療法協会主催の学会抄録などから、新しい情報や知識を学びました。学んだ知識を応用させ現場で活かせる様に働きかけることができました。
- ・食事や移乗など生活動作の介助方法だけでなく車椅子やセンサーなど介護用品使用状況についてもその都度話し合いを行いました。現在の生活に必要な介護用品が提供できているか確認を行い、安全で穏やかに過ごせる生活環境の提供に努める事ができました。

2. 感染症対策の徹底

継続した感染症対策を行い、感染症の予防に努めました。新型コロナウイルス感染症に関しては、ご入居者6名が感染を発生してしまいましたが、クラスターなど発生することなく終息することができました。新型コロナウイルスが5類へ移行した後の状況やその他の感染症についても引き続き対策の強化に努めて参ります。

3. リスクマネジメント

事故予防委員会を中心に毎月の各ユニット会議にて「ヒヤリハット・事故集計表」を評価・再検討をすることで事故の未然防止に努めました。1年を通して大きな骨折事故が減り、骨折での手術入院も0件にすることができました。

4. 防災対策

施設全体で行われた年2回の防災訓練に参加しました。他部署の避難誘導を手伝うことで新たな気づきや避難経路を確認することができました。

開催月	行事名	実施内容
4月	お花見	各ユニットにおいて食事会などを実施
5月～7月	運動会、おやつ作り、七夕	各ユニットにおいて感染予防を図った上で実施
8月～9月	花火大会 敬老会	東西ユニット合同で実施 従来型とユニット型が別々に実施
10月～11月	ハロウィン	各ユニットにおいて実施
12月	クリスマス会	食事会等を兼ねて実施
1月～3月	豆まき、ひな祭り	各ユニットにおいて実施

※参考資料

(1) 入居利用者の実態

①介護度及び保険者（令和6年3月31日現在）

要介護度		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
総社市	男	0	0	2	2	0	4
	女	0	0	7	5	11	23
	小計	0	0	9	7	11	27
倉敷市	男	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	1	0	0	1
	小計	0	0	1	0	1	2
津山市	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	1	1
	計	0	0	0	0	1	1

計	男	0	0	2	2	1	5
	女	0	0	8	5	12	25
合計		0	0	10	7	13	30

② 年齢構成（最高年齢：98歳、最少年齢：69歳、平均年齢：88.6歳）

	～64	65～ 69	70～ 74	75～ 79	80～ 84	85～ 89	90～ 94	95～ 99	100 ～	計
男性	0	1	0	0	2	0	1	1	0	5
女性	0	0	1	1	5	7	5	6	0	25
合計	0	1	1	1	7	7	6	7	0	30

③ 年間の入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
退所	0	0	0	1	1	2	0	1	0	1	1	1
入所	1	0	0	0	2	1	1	1	0	1	1	1

④ 退所理由

長期入院	他施設入所	在宅復帰	死去	(死去の内、施設内での看取り) (4名)
1名	0名	0名	7名	

(2) 稼働状況（平均稼働率：97.2%）

ユニット型

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
延べ利用者数	873 (900)	919 (930)	900 (872)	926 (921)	924 (927)	856 (900)	881 (903)	831 (856)	900 (816)	896 (781)	847 (789)	920 (901)	10673 (10496)
ベッド稼働率	97.0 (100)	98.8 (100)	100 (96.9)	99.6 (99.0)	99.4 (99.7)	95.1 (100)	94.7 (97.1)	92.3 (95.1)	96.8 (87.7)	96.3 (84.0)	97.4 (93.9)	98.9 (96.9)	97.2 (95.9)

下段は令和4年度

(3) 待機者の状況（※従来型とユニット両施設希望者も含む。）

保険者	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
総社市	1	0	17	8	5	31
岡山市	0	0	0	0	1	1
合計	1	0	17	8	6	32

月	行事食	月	行事食
4月	お花見弁当 →実施	10月	大判焼き →夏祭りを実施
5月	ピザ作り →未実施	11月	秋祭り 各ユニットおやつ作り

	各ユニットでおやつ作り		
6月	デザートバイキング →未実施	12月	クリスマス行事食 →お弁当提供
7月	夏祭りイベント→ミニ夏祭り実施 たこ焼き チョコバナナ実施	1月	お正月行事食 →実施
8月	アイスクリーム →実施	2月	巻き寿司 →実施 従来 チョコフォンデュ デザートバイキング実施
9月	敬老会行事食→ 実施	3月	ひな祭り行事→実施

苦情状況

なし

3. G&Rデイサービスセンター

「学習療法」及び「脳機能訓練」を新たに開始し、外部居宅への情報発信に努めました。機能訓練として掲げている「スロトレ」も併せて、徐々に認知されつつあると感じています。

今年度は月平均 3.8 名、計 46 名の新規受け入れを行う事が出来ましたが、要支援者や週 1～2 回利用の方が大半である事に加え、複数回利用者の相次ぐ契約終了により、稼働率の目標値達成は叶いませんでした。来年度も継続して情報発信を行い、当事業所の特色が確立されるよう努めてまいります。

新型コロナウイルスを含む感染症対策も予防を徹底しており、クラスター等の発生はありませんでした。今後も感染症予防対策を適切に行ってまいります。

1. サービスの質の向上

〈相談〉

ご家族に対し、ご利用者の小さな体調不良でも報告し、ケアの方法から着替えや持ち物に関する事まで幅広く細目に意向確認を行うと共に、その内容を申し送りや会議等において職員全員で情報を共有をした結果、ご家族・ご利用者のニーズに沿ったサービス提供に繋げる事ができました。また、その都度ケアマネジャーへの報告や情報の共有・連携を確実にを行う事で、各事業所の意見や考えを聞く機会を持つ事も出来ました。さらには、ご利用者・ご家族からのご要望やケアマネジャーからの依頼等に対し可能な限り対応する姿勢で臨んだことで、関係構築を図る事ができました。

〈看護〉

異常時の報告を迅速・詳細に行った事で、必要な処置内容の変更や多職種間での情報共有をスムーズに行う事ができ、在宅生活継続の問題発生に対して積極的にケアプランに沿ったケアを実施することができました。また、機能訓練では、個々のご利用者に適した計画を作成・実施し、身体機能の把握と適切な運動の提供を行った結果、ご高齢なりにも「動ける体」を維持していただく事が出来ました。

〈介護〉

「待つ」事は比較的实施出来ていたと思いますが、待てずに職員が介助してしまう場面も少なくなかった事から、ご利用者の残存機能維持の妨げとならないよう継続して留意していく必要があります。「見る・聴く」事に関しては、ご利用者の身体的異常の早期発見や、若い頃の話しや好きな物の話し等を多く聞く事が出来ました。ご利用者本人の能動的な行動を引き出す事ができた事案もありましたが、十分とは言えないと感じており、今後も継続して取り組んでまいります。

質の高い個別対応を実践する為に日々の反省会等で協議を重ねた事で、ご利用者の状態に合わせた根拠のある介護が提供できました。しかし、ご利用者の状態は刻々と変化する事や入れ替わりがある事等から、今後も継続的な取り組みを実施します。

2. 感染症対策の徹底

手洗いや手指消毒、物品の管理・消毒、アクリルボードの設置、インカムの使用等徹底した実施を継続しており、職員へも新型コロナウイルスに感染しない・持ち込まない為の注意喚起を定期的に行いましたが、1名の職員が感染しました。しかし、感染は広がる事なく終息させる事ができました。今後も新型コロナウイルスが第5類へ移行した後の感染状況を注視しながら、適切な感染症対策に努めてまいります。

3. リスクマネジメント

交通事故予防については、適宜、安全運転に対する注意喚起を行うと共に、各職員の運転技術を考慮した配車割を行いました。物損事故が1件発生という結果となりました。

介護事故発生防止については、ヒヤリハット報告書が提出された際、発生原因を徹底的に追及し、確実に実行できる改善策の策定と、デイ会議でヒヤリハットの振り返りにおいて、改善策実施の確認及び改善策の修正を図り、同じような案件のヒヤリハットや事故の発生を未然に防ぐことができました。

4. 防災対策

施設全体で行われる火災を想定した避難訓練に参加しました。実際に火災が発生した場合を想定しながら避難経路を自分達で考える事で、多くの気づきを得る事ができました。

行事

開催月	行事名	実施内容
4月	草花万象	紙の上に植物を置き、その上へ絵具を弾き色を付け壁画を作成
5月	川の流れのように	そうめん流し
6月	清音より祈りを込めて	千羽鶴を作成し広島平和公園へ奉納する
7月	〃	〃
8月	熱帯夜 空で舞い散る 青海月	切れ込みを入れたストローを使い花火（壁画）を作成

9月	そうだ 京都、行こう	パワーポイントを使用したバーチャル旅行
10月	紅葉の帳	紅葉の景色が寺内の床に反射し映っている幻想的な光景を壁画として表現
11月	九里よりうまい十三里	さつま芋羊羹を作り食べる
12月	年神様 いらっしゃ〜い	正月飾りを作成する
1月	屹立する富士	赤富士を作成する
2月	春の夜 ~強者どもが夢の跡~	大阪城を背景にした夜桜を題材とし壁画作成
3月	新春かくし芸大会	職員による演芸披露

苦情状況

なし

4. 居宅介護支援事業所

介護保険制度に則り、日々の業務の中で自己研鑽とケアマネジメントの質の向上に努めました。ご利用者が急変して速やかな対応が必要であったり、ご家族の意向確認が大変難しいなど、今年度も様々なケースに対応してまいりました。ご利用者・ご家族の「自分らしい生活」がどの程度実現することが出来たのかは計りかねますが、ご家族から「早急に対応してもらって、こちらにお願いしてよかった」という声を頂くこともあり、微力ながらご利用者・ご家族の自分らしい生活の一助となれたのではないかと感じています。

1. サービスの質の向上

- ・今年度は介護支援専門員協会に入会し、協会から届く資料や情報の確認、研修会に参加しました。介護保険制度に関する情報が随時配信される為、日々検討されている内容や動き、令和6年度の介護保険法改正などの内容についても早めに情報を知ることができました。また、研修会に参加することで多職種と繋がることができ、新たな学びもありました。
- ・年2回自己点検シートを用いて自らの業務の振り返りを行い、指定されていることを確実に行うことが出来ていることを確認しました。

2. 感染症対策の徹底

- ・感染症の予防及び蔓延の防止について、施設内で行われる研修会への参加や発信される情報から感染症に関する知識を深め、ご本人及びご家族に伝えることができました。日常生活の送り方や、通所介護事業所などのサービスを利用する際の助言として役立てることができました。
- ・日々の健康管理や訪問後の手洗いと手指消毒、マスクの着用など、日頃から感染予防の対策を行いながらの訪問に留意しました。そして予防対策も含めて感染症に関することをご本人及びご家族に伝えることで、互いに感染することなく、業務を行うことができました。

3. リスクマネジメント

昨年度の運営指導における是正改善の指摘はありませんでしたが、ケアプラン自己点検シートを用いて自らのケアプランを評価・見直しを行い、ケアプラン作成時に気を付けなければならないことや記載の仕方などについてより理解を深めることができました。

また、年2回自己点検シートを用いて自らの業務の振り返りを行いました。運営規程の必須記載事項を発見するなど、重要なことについて確認をすることができました。

4. 防災対策

施設内で行われる防災訓練に参加をすることで、平時から防災に関する意識を持つことの重要性を改めて認識することができました。災害等の発生においては、ご利用者に対して継続した居宅介護支援の実施や、早期に業務再開を図ることができるよう事業継続計画の策定、検討を行いました。今後の研修や訓練を通じて、より質を高めていきたいと考えています。

苦情状況

なし

5. ケアハウス

今年から新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行されましたが、昨年度に引き続きケアハウスではマスクの着用や手洗いの励行、手指消毒等の感染症予防に努めたところ、新型コロナウイルスの感染者が1名、インフルエンザ等の感染者は0名で感染を最小限に留めることができました。また、今年度より外出制限を緩和したことにより、ご入居者の活動の幅が広がり、ストレスも軽減され、少しずつコロナ以前の生活に戻りつつあります。完全ではありませんが、感染症の予防による健康の維持と楽しみのある質の高い生活を取り戻すことができつつあると感じています。

1. サービスの質の向上

〈相談〉

- ・ご入居者の状態を把握し、状態変化や低下等がある場合は、細目にご家族やケアマネジャーへ連絡し、速やかな医療を受けることで状態の悪化や重篤化を未然に防ぐ事ができました。また、加齢に伴う身体機能低下に対し、適切な福祉用具の使用やデイサービス、訪問介護の利用により、ご入居者が安定した自立生活を送ることができました。
- ・夏場には、ご入居者の転倒、体調不良等で長期の入院があり、入退去の入れ替わりも多かったことから、空床期間も発生してしまいましたが、毎月1日までの契約満床は維持することができました。

〈介護〉

ご入居者からの相談事に関して基本傾聴の姿勢を取り、自身で行えることは自身で行える様助言にて対応し、ご入居者の自立した生活を妨げない様に努めました。また、様々な行事を企画しましたが、強制ではなく任意での参加を促すことでご入居者の生活ペースを乱すことな

く、公平かつ平等なサービスが実施できました。

2. 感染症対策の徹底

今年度からの制限緩和により、ご入居者の外出機会を増加することができました。マスクの着用、帰所時には手洗い、手指消毒等の徹底を行うことで感染症の発生も1名に留めることができました。また、流行中の感染症の情報や予防対策について懇談会等で発信することにより、各個人でも対策して頂く様に注意喚起に努めました。

3. リスクマネジメント

共有スペースや避難通路など障害物の除去、整理整頓に努めることで転倒リスクの低下や動線の確保に努めました。身体機能の低下等で転倒はありましたが、環境が原因での転倒はありませんでした。また、各ご入居者へ施設の取り決めやお知らせ等がある場合、情報の発信漏れがないように懇談会やケアハウスの掲示板を活用し、情報の伝達を行いました。必要な場合にはご家族へも連絡を行い、本人の納得が難しい場合、ご家族へ協力を仰げる様、連携を図りました。

4. 防災対策

避難方法について懇談会での発信や各個人への説明を行い、火災を想定した年2回の避難訓練も実施しました。ご入居者は避難難方法を理解されており、無事に避難することができましたが、火災場所の放送が流れるよりも早く避難している方やゆっくりと避難される方など様々でした。今後も各ご入居者の防災に関しての意識向上に努めてまいります。

(1) 入居者の実態

①要介護度及び保険者（令和6年3月末現在）

	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
総社市	3	0	4	2	1	0	1	0	11
岡山市	0	0	0	1	0	0	0	0	1
津山市	0	0	1	0	0	0	0	0	1
倉敷市	0	0	0	0	0	1	0	0	1

②年齢構成（最高年齢：99歳、最少年齢：73歳、平均年齢：85歳）（令和6年3月末現在）

性別	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
男性	0	0	0	1	0	1	0	2
女性	0	0	1	1	4	2	4	12

③ 在籍年数（平均 3 年 1 か月）（令和 6 年 3 月末現在）

年数	1 年未満	1 年以上～ 3 年未満	3 年以上～ 5 年未満	5 年以上～ 8 年未満	8 年以上～ 10 年未満	10 年以上
人数	4	7	1	1	0	1

④ 入退居状況

退居者数 8 名（長期入院：4 名、他施設入所：2 名、死亡退去：0 名、自宅：2 名）

入居者数 7 名

(2) 懇談会開催状況

開催日	懇談内容	出席者数	出席職員数
令和 5 年 6 月 15 日(木)	防災について	8 名	4 名
令和 5 年 10 月 13 日(金)	詐欺について	9 名	4 名
令和 5 年 12 月 18 日(月)	ノロウイルスについて	9 名	5 名
令和 6 年 3 月 25 日(月)	本日の 8 ミッションについて	8 名	5 名

(3) 行事活動実施状況

実施月	実施内容
4 月	お花見お茶会、壁面制作、手芸(あじさい作り)、たこ焼き
5 月	野菜苗植え、バーベキュー、新茶会、エンドウ収穫、れんげドライブ、健康診断
6 月	スイーツビュッフェ、ホットケーキ作り、アジサイドライブ
7 月	生け花、手芸活動、地産地消(とうもろこし)の提供、アイスクリーム提供、避難訓練
8 月	ハーバリウム、たこ焼き、かき氷提供、生け花、クリームソーダ提供
9 月	手芸(お月見の吊るし飾り)、ソフトクリーム提供、敬老会、ティッシュ BOX 作り、秋野菜園芸活動、おはぎ作り、洋菓子提供
10 月	避難訓練、手芸(お月見うさぎ)、秋の炊き込みご飯、抹茶会、リンゴコースター作り、干し柿作り
11 月	蒸し芋作り、クレープ作り、芋の天ぷら作り、紅葉ドライブ、健康診断、手芸(ポインセチア作り、ボンボンリース作り)、豚汁提供、
12 月	福寿草の色紙作り、手芸(ブローチ作り)、大根おろし作り、天ぷら作り、大根もち作り、カボチャサラダ作り、忘年会、しめ縄作り、書写、クリスマスケーキ作り
1 月	歌の会、壁面制作(雪)、雪の大福作り、脳トレプリント提供、壁面制作、大根おろし、白菜の煮物作り、新年会、手芸(季節の飾り作り)、色紙作り
2 月	白菜鍋作り、歌の会、漬物作り、ネギ焼き作り、園芸活動、壁面作り、書写、お茶会、ぜんざい作り、手芸活動(春のリース作り)、お好み焼き作り、握りずし提供、押し絵作り
3 月	手芸(桜の色紙作り)、歌の会、ひな祭り喫茶、すき焼き、手芸(小物作り)

※レクリエーション(脳トレプリント提供)：週 1 回、百歳体操：週 1 回、買い物：月 1 回、習字：月 1

回、 カミカミ体操：月1回

(4) 苦情状況

なし

6. 地域包括支援センター

コロナ禍以降3年で1か月あたりの支援計画数が50件以上増加する中、重度化予防のため各サービス事業所や行政機関と協働し、対応を行うことができました。

また、総合相談については昨年度までに引き続き多様な課題に対応できるよう、三職種がそれぞれの強みを生かした相談対応が取れるよう体制について話し合いを重ね、各自、自己研鑽に努めていくことができました。

1. サービスの質の向上

部署内でミーティングの時間を新たに増やし、職員間の情報共有やケースの進捗管理がそれぞれ行えるようにしました。また、複合的な課題に対して適切に対応できるよう、社会福祉協議会が開催する多職種協働事業の研修会に積極的に参加し、事業への理解が深まったことでスムーズに対応することができるようになりました。

2. 感染症対策の徹底

基本的な感染症の対応は引き続き行い、年間で感染症による勤務への支障はありませんでした。また、行政機関の感染症情報について適宜、情報収集を行い、地域への情報共有を通じて感染症予防に対する注意喚起の促しを行った結果、健康教室等を中止することなく地域活動を継続することができました。

3. リスクマネジメント

定期的にミーティングを行い、各職種間でケースの共有を行うことで、課題の潜在化を防ぐことができました。また、記録の整備や介護保険制度について、不備や勘違いが無いよう振り返りや申し合わせを事業所内で行うようにしたところ、以前より誤りが減少しました。

4. 防災対策

今年度は発災時の事業継続計画について行政機関との連携について検討をしました。今後も更に検討を重ね、質の高いものを作成してまいりたいと考えています。また、施設内での防災訓練、避難訓練に参加することで発災時に施設内の利用者の避難誘導の援助がスムーズに行えるようにしました。災害発生の場所や時間帯による注意点等多くの気づきを得ることが出来ました。

苦情状況

なし